文部科学省　日本語教師養成・研修推進拠点推整備事業

中部ブロック　2026 年度　拠点事業シンポジウム

アンケート結果

登録日本語教員制度導入で、日本語教員養成はどう変わるか

開催日時　：2026 年 10 月 11 日（日曜日）13 時 30 分～16 時 30 分　対面開催

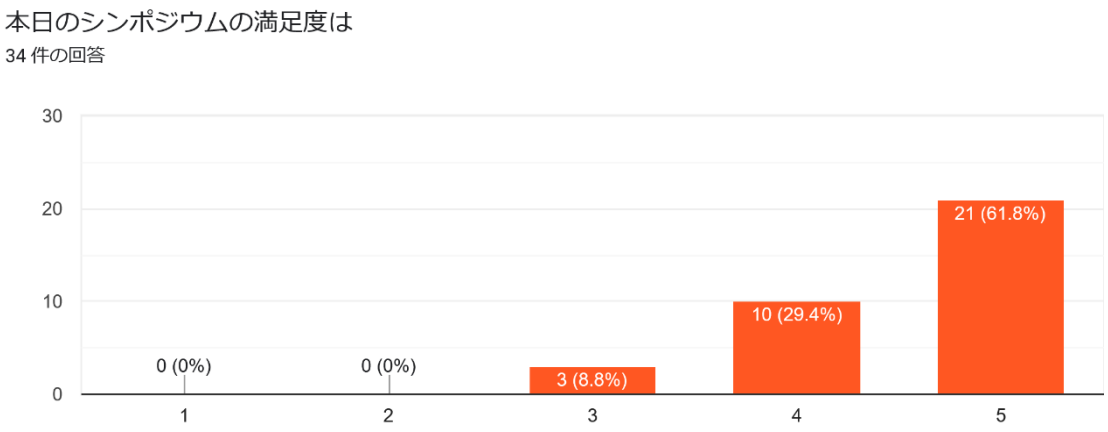
会場　：南山大学

【申込数/参加数/アンケート回答数】

	対面のみ
申込者数	77 名
参加数	69 名
アンケート回答数	34 名

【対面参加者アンケート結果】

本日のシンポジウムの満足度は



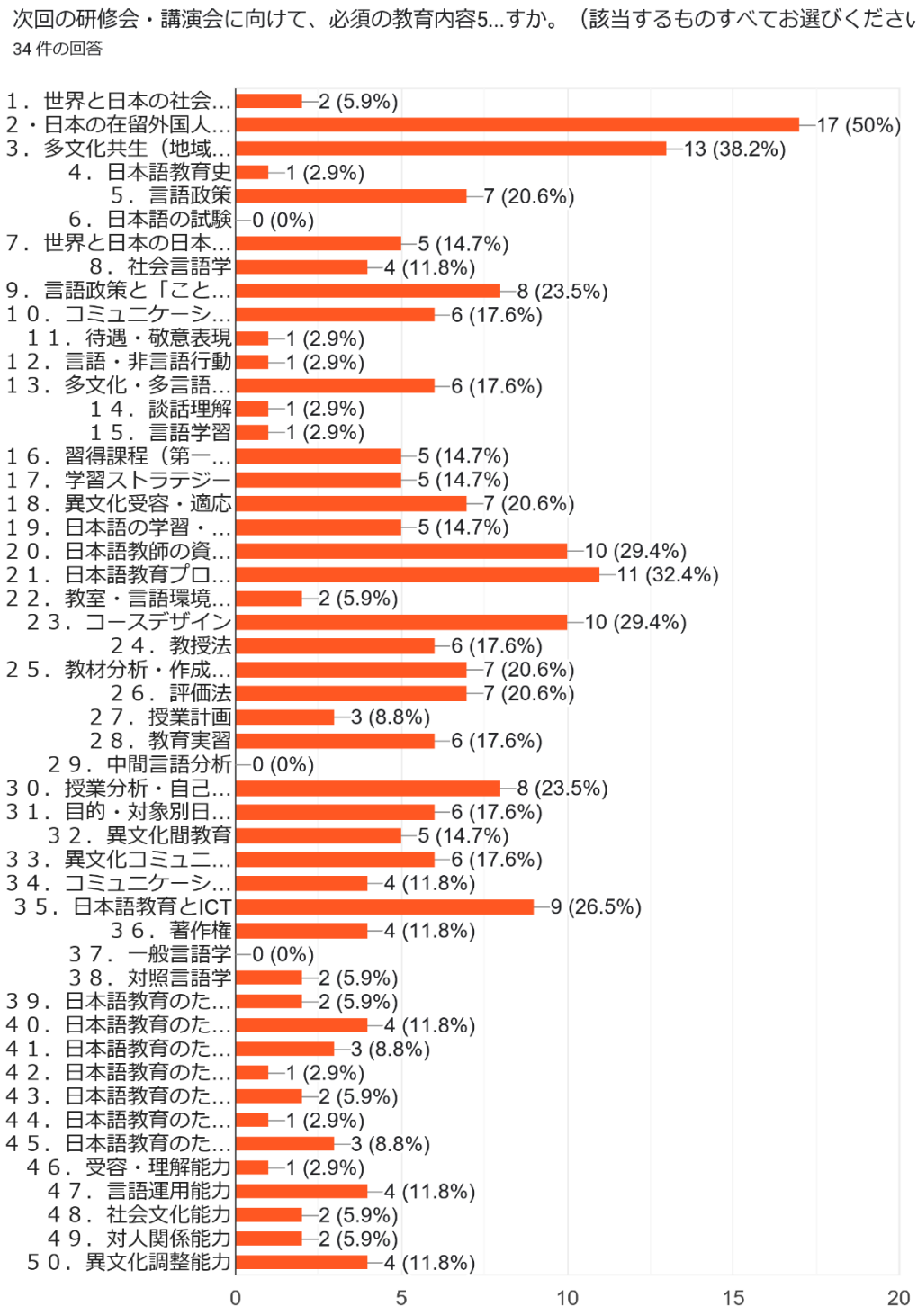
本日の研修会について、ご意見・ご感想などを、一言でも構いませんのでお聞かせください。

- 大変有意義なシンポジウムでした。今回学んだことを今後の日本語教育の実践に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- これだけいろいろな大学、養成機関の先生方のお話しを聞ける機会はなかなかないので、参加して本当に良かったです。各機関の特色や連携のあり方も伺うことができ、日本語教育の未来が少し楽しみに思えました。
- ″一昨年、大学のゼミの先生の勧めで、「現職日本語教師研修プログラム普及事業」の一環で日本語教育研究所が主催する就労者に対する日本語教師養成のための研修を受講しました。その時はぼんやりとしか『育成就労』のイメージができませんでしたが、本日文科省の方の基調講演を拝聴し輪郭が少しできましたし、それに伴うといいますか業界自体が過渡期なんだなと強く実感しました。
- また昨年の秋に登録日本語教員の試験を受験し、無事に合格することができました。今は日本語学校で専任教員をさせていただいておりますが、愛知県および東海地区の現状を知り、学習者は留学生だけではないということを改めて痛感しましたし、外国にルーツのある子どもの支援については関心がありますので何か行動できたらいいとも思いました。″

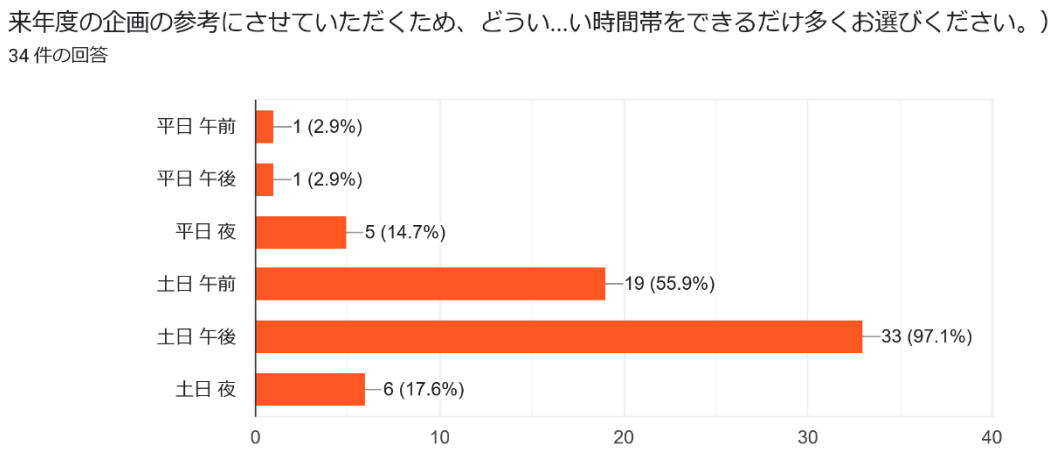
- 今回のシンポジウムでは、日本語教員の養成現場（とくに大学において）の取組状況を理解することができ、大変参考になりました。
- 文科省の方の話を聞けたのがよかったです。
- 時間通りの運営、素晴らしいと思いました。内容も、日本語教員養成・研修推進拠点事業に合ったものだと感じました。
- 留学生に加え労働市場との交流をさらに進めようという方向性は理解出来ましたが、JSL 児童への問題については文科省の資料にもでてはいるものの、今回の事例発表には残念ながら具体的なものはありませんでした。
- 昨年も参加させて頂きましたが、参加者数の増加、文科省の方、大学教授の皆様のお話が大変興味深く、登録日本語教員試験の重要性を再認識しました。
- 日本語教育の今後や教員養成の取り組みや現状ついて詳しく知ることができました。
- 同じ 50 項目であっても機関によって様々な特色があることがわかり、非常に勉強になりました。日本語学校（就職先かつ受け入れ側）として知っておくべきことだと感じました。また、文科省の方や他機関の方々と名刺交換できたことも連携の始まりとなり、有意義でした。ありがとうございました。
- 大学側も日本語教室や日本語学校との連携を考えていることが知れてよかった。
- ″私の理解不足なこともありますが、登録日本語教員の今後の展望などもお聞きできるかと思いましたが、あまり聞けず残念でした。
- 大学ではどのような取り組みが行われているかを学ぶことができ勉強になりました。″
- 中部地区の各大学における日本語教員養成プログラムの実状が伺えて、大変参考になりました。
- 文科省の視学官から、最新の動向を聞けたのがよかった。事例報告も参考にあるものがあった。
- 文部科学省の最新情報、他大学の状況、いずれも知りたい内容だったので、大変参考になった。
- とても有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- 各大学の理念に基づいた教員養成課程があることを大変興味深く感じながらご発表を伺いました。たとえ文科省のコントロール下に置かれた課程とはいえ、理念を持つことの重要性を改めて認識できたのは、大いなる収穫です。ありがとうございました。
- 貴重な機会をありがとうございました。可能であればオンラインでもこのような会があると、遠方の方でも参加しやすいかなと思いました。
- いろんな機関の特色がわかり、自分の所属先の制度設計のヒントが得られました。
- これからの日本語教育の必要性を知ることができた。

- 文科省からの説明、各校の報告、いずれも興味深かったです。
- 新しい情報を得ることができたこと、参加された方との交流ができたことがこのシンポジウムでの収穫でした。ありがとうございました。
- 大学での取り組みはよく理解できた。また、文科省の方の話から今後の動向を感じることができ、日本学校の運営の過渡期であることが分かった。
- 文科省の方から日本語教育についての最新情報をお聞かせいただけたことが有益でした。また、認定日本語教育機関や登録日本語教員についての動向が分かり、今後の身の振り方を考えることができました。
- 各機関がそれぞれの体制を踏まえて取り組まれている内容を端的にご紹介いただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
- 大学での開催でも、もう少しいろいろな立場の方が混ざるとよかったと思いました。が、教員養成のさまざまなお立場の方のお話がお聞きできてとても貴重な機会になりました。
- 多くの学校の現状を伺うことができ、有意義でした。ありがとうございました。

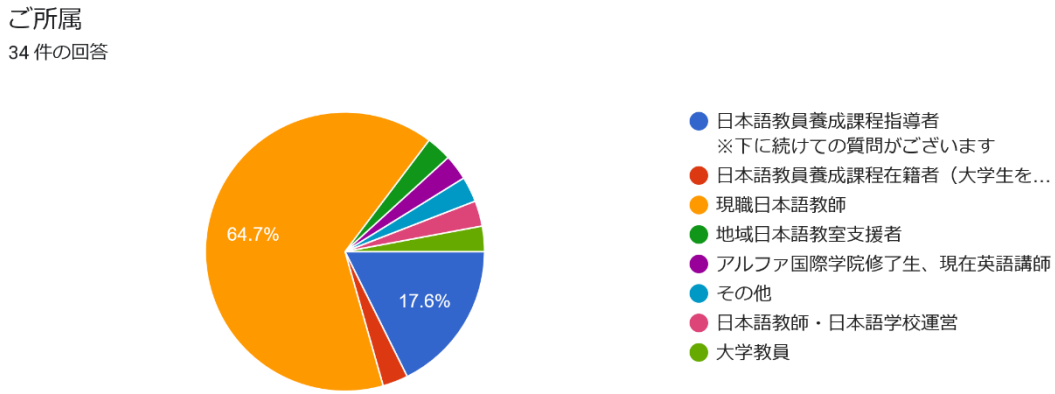
次回の講演会・研修会に向けて、必須の教育内容 50 項目において、どちらを更に学びたいですか。（該当するもの**すべて**お選びください。）



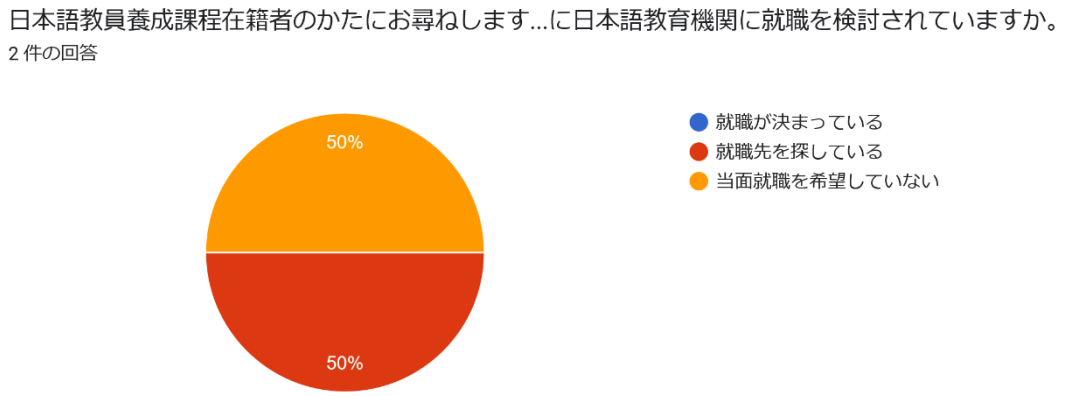
来年度の企画の参考にさせていただくため、どういった曜日時間帯であればご参加しやすいか、ご希望をお聞かせください。（時期により状況は異なることもあると思いますが、比較的ご都合の良い時間帯を**できるだけ多く**お選びください。）



ご所属



日本語教員養成課程在籍者のかたにお尋ねします。養成課程終了後に日本語教育機関に就職を検討されていますか。



現職の先生方にお尋ねします。お勤めの日本語教育機関で日本語教員が十分な人数がいるとお考えですか。（経費等を考慮せず）

